

平成19年度行政評価について

1 行政評価の概要

(1) 評価対象

事務事業評価

菊陽町総合計画実施計画書（平成18年度～平成20年度）に基づき平成18年度に実施した249事務事業を評価しています。

主要施策評価

249事務事業の上位施策である68主要施策を評価しています。

(2) 評価者

事務事業は事務を所管する課、主要施策は施策を所管する部で評価しています。

(3) 評価結果

総合評価

主要施策評価		事務事業評価		
評価区分	主要施策数	評価区分		事務事業数
見直しや改善が必要	0件	1	非常に低い	1件
成果を上げる努力が必要	11件	2	中程度より低い	8件
成果を上げている	42件	3	中程度より高い	81件
十分な成果を上げている	15件	4	非常に高い	159件
合計	68件	合計		249件

今後の方向性

区分	主要施策評価	事務事業評価
現状で継続	53件	194件
見直しで継続 (内訳)	15件 統合(1)、方法改善(12)、 民間活用(2)	50件 拡大(6)、統合(6)、 方法改善(34)、縮小(4)
廃止又は休止	0件	1件
終了又は完了	0件	4件
合計	68件	249件

(4) 評価の成果

行政評価の結果、主要施策では22%（15件）の施策を見直し、事務事業では休止などを含めて22%（55件）の事務事業を見直します。

2 主要施策評価の評価項目説明

(1) 成果指標の目標達成率と評価

構成する事務事業の成果指標の平均達成率とその達成状況を次の区分で示しています。

- ・平均達成率 100%以上 : 成果目標を達成している
- ・平均達成率 70%以上 100%未満 : 概ね満足のいく成果が出ている
- ・平均達成率 40%以上 70%未満 : 成果目標達成への努力が必要
- ・平均達成率 40%未満 : 成果目標達成のための抜本的な改善が必要

(2) 総合評価

次の区分による総合評価と総合評価に至った理由を示しています。

- ・評価 90%以上 : 十分な成果を上げている
- ・評価 70%以上 90%未満 : 成果を上げている
- ・評価 45%以上 70%未満 : 成果を上げる努力が必要
- ・評価 45%未満 : 見直しや改善が必要

(3) 今後の方向

主要施策の今後の方向性を示しています。

3 事務事業評価の評価項目説明

(1) 事務事業平成18年度コスト

a. 事業費

平成18年度の事業費の実績を示しています。

b. 人件費

次の単価で計算した人件費を示しています。

- ・常勤職員 : 6,500 千円 / 年
- ・非常勤職員等 : 1,200 千円 / 年
- ・1人当たり年間労働時間 : 1,936 時間

c. 総事業費

事業費 + 人件費を示しています。

(2) 事業の目的

a. 事業の対象

事業の対象や課題を示しています。

b. 意図

事業の対象をどういう状態(意図)にしたいのかを示しています。

(3) 成果指標

- a. 成果指標と平成18年度目標値
事務事業の成果を測る指標とその平成18年度の目標値を示しています。
- b. 達成率
平成18年度の成果指標の達成率を示しています。

(4) 総合評価

- a. 評価
総合的な評価を「1(非常に低い)～4(非常に高い)」の区分で行っています。
- b. 総合評価判断理由
総合評価に至った理由について、具体的な成果や実績を上げて示しています。

(5) 今後の方向

- a. 方向
事務事業の今後の方向性を示しています。
- b. 左記方向をとる理由及び展開方針
方向性をとる理由を具体的に示しています。

4 評価担当

評価を行った所属名を示しています。